

ID:

様 入院診療計画書 病名/症状(

/

) 婦人科悪性腫瘍手術/卵巣腫瘍開腹手術(術中迅速病理診断あり)

	入院・手術前日	手術日	術後 1日目	術後2 日目	術後3～5日目	術後6～9日目(退院)
検査	採血	手術後は翌朝まで酸素吸入を行います	採血			状態に応じて採血があります
処置	除毛	術後、血栓予防の皮下注射を1日2回行います 背中には鎮痛剤のチューブが入っています	毎日傷の診察を行い、必要時ガーゼ交換をします お腹の管は排液が少なくなったら主治医の判断で抜去します		鎮痛剤のチューブを抜きます	退院前の診察 退院 
薬	昼:下剤内服 21:00:下剤と安定剤内服					
注射	点滴 (この点滴は術後数日まで続きます。経過により日数は変わります) 状況に応じ薬剤師がご説明に伺います					
食事	朝食後から絶食 21時から絶飲食	絶飲食 		排ガス確認後、流動食から開始します		
	特別な栄養管理の必要性 (有・ <input checked="" type="radio"/> 無)	(どちらかに○)				
清潔	シャワー又は入浴		点滴やお腹の管が入っている間は清拭		お腹の管がとれ防水テープになればシャワー可	
活動	病院内	手術後は ベッド上安静	ベッド上で横向きや座る練習をします	病棟内歩行可	病院内歩行可	
休息		術後は尿管が入ってます	体調がよければ歩行練習をします			
排泄		トイレ歩行までフットポンプを装着します	病室内歩行可	2日目または6日目に尿管を抜きます		
リハビリ			「総合実施計画書」を作成し、リハビリを開始いたします 術後1日目より理学療法士がお部屋を訪問し、状態に合わせてベッドサイド→病棟内→3階リハビリ室でリハビリをします			
総合的な機能評価	65歳以上、又は特定疾病を有する40歳から65歳未満の方は総合的な機能評価を行います					
看護計画	担当看護師が看護の計画についてご説明いたします					
説明	オリエンテーション① 病棟案内や日課 オリエンテーション② 手術に必要な物品・注意事項など 手術当日はHCU病棟へ転棟することがあります 入院後に説明があります 手術室看護師の訪問 主治医から手術について説明をきかれてない方はお知らせください	手術後主治医より家族の方へ手術の説明があります (手術中、家族の方は家族控室で待機していただきます)			退院までに主治医から手術の内容や経過について説明があります	 看護師から退院後の生活についてお話しします
その他	手術後、数日間出血することがありますので、ナブキンをご用意ください	手術中の病理検査の結果で、術式変更になる場合があります。変更になった方は、術後の検査・経過が異なります。		火曜日の朝、婦人科医師の総合回診があります		

この予定表は、患者さんの状態に応じて変わることがあります。
何かご質問があれば看護師にお尋ねください。

主治医 _____ 年 月 日
看護師 _____ 年 月 日

管理栄養士 _____
セラピスト _____

患者署名 _____ 年 月 日
代諾者署名 _____ (続柄) 年 月 日

薬剤師 _____

済生会福岡総合病院 婦人科 病棟

2021年 8月